

* 公共施設のあり方に関するアンケート調査 *

日ごろは、町政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この度、東浦町では「公共施設のあり方に関するアンケート調査」を実施することとなりました。

東浦町の公共施設は、高度経済成長期に建設されており、今後これらの施設が一斉に建て替え時期を迎えることとなります。しかし、急激に進行する人口減少や少子高齢化により、社会構造や住民からのニーズが変化していることに加え、厳しい財政状況が続く中、公共施設等の維持管理、更新等について、抜本的な見直しが必要となっています。

本調査は、皆様の公共施設に対する意識や利用状況などをお聞かせいただき、今後の方向性や公共施設の再編を検討するにあたっての基礎資料とするために実施するものです。

調査の対象は、町内にお住まいの16歳以上の方の中から、無作為に3,000人を選ばせていただきお願いするもので、ご回答の内容は、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年9月

東浦町長 神谷明彦

インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます。



- 左のQRコードから回答フォームにアクセスできます。
 - インターネットで回答された方は、郵送での回答は不要です。
 - 重複回答や不正を防ぐため、回答用紙のインターネット回答用整理番号を入力してください。
- （※個人を特定する番号ではありませんので、ご安心ください。）

【ご回答にあたってのお願い】

- 1 紙でご回答いただく場合は、別紙の回答用紙にご記入いただき、ご返送ください。（切手不要）
- 2 ご本人（宛名の方）がご回答ください。記入することが難しい場合は身近な方が、ご本人の意向を聞きながらご記入いただいてもかまいません。
- 3 黒のボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 4 **回答は、回答欄に該当する項目の番号をご記入ください。**ただし、「その他」を選択された場合は、内に具体的にその内容をご記入ください。

このアンケート調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いします。

回答期限：令和4年10月11日（火）

【お問い合わせ】

東浦町役場 企画政策部企画政策課施設マネジメント係

☎ 0562-83-3111（内線224）

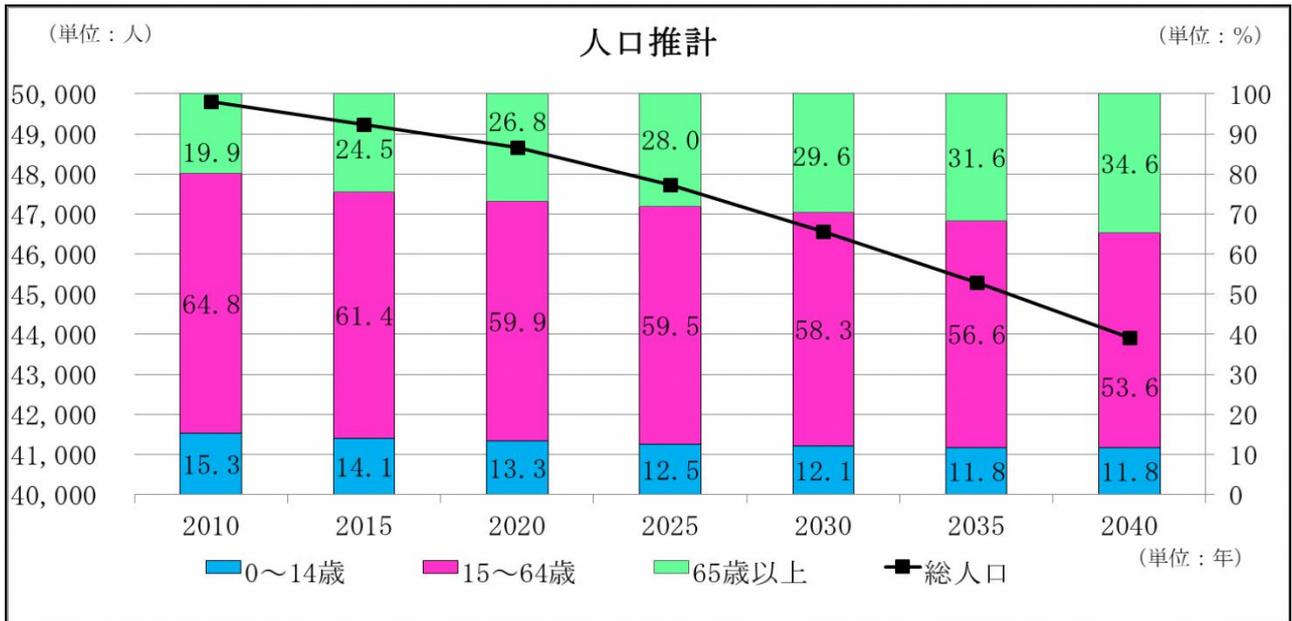
～アンケートの前に、公共施設の状況についてご覧いただき、
7ページ目からの「アンケート調査票」にご回答ください。～

1 公共施設を取り巻く状況

町の人口について

2014年まで自然増減は一貫して増加しており、2015年には、49,230人となりました。しかし、2017年を境に減少が顕著となっています。2040年の東浦町の人口は約44,000人と推計されています。

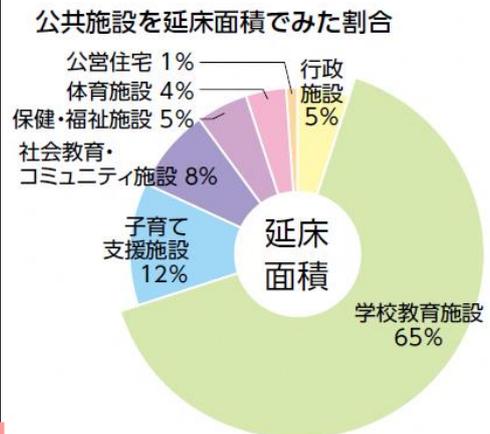
また、高齢者人口の増加に伴う扶助費（社会保障費など、住民福祉を支えるための経費）の増加、生産年齢人口の減少に伴う税収の減少など、人口構造の変化は本町財政にも多大な影響を及ぼすものと考えられます。



公共施設の保有量について

本町の公共施設の総延床面積は約 133,900 m²で、東浦町役場約 40 個分の規模に相当します。いずれも住民皆さんの税金で建てた施設です。また、延床面積の割合で見ると、約 65%を学校教育施設が占めています。

施設類型	施設数	棟数	延床面積 (m ²)
行政施設	11	18	7,132.33
学校教育施設	11	87	87,538.04
子育て支援施設	15	22	15,642.03
社会教育・コミュニティ施設	9	11	10,452.29
保健・福祉施設	10	12	7,022.91
体育施設	4	4	5,105.23
公営住宅	2	24	1,007.87
合計	62	178	133,900.70

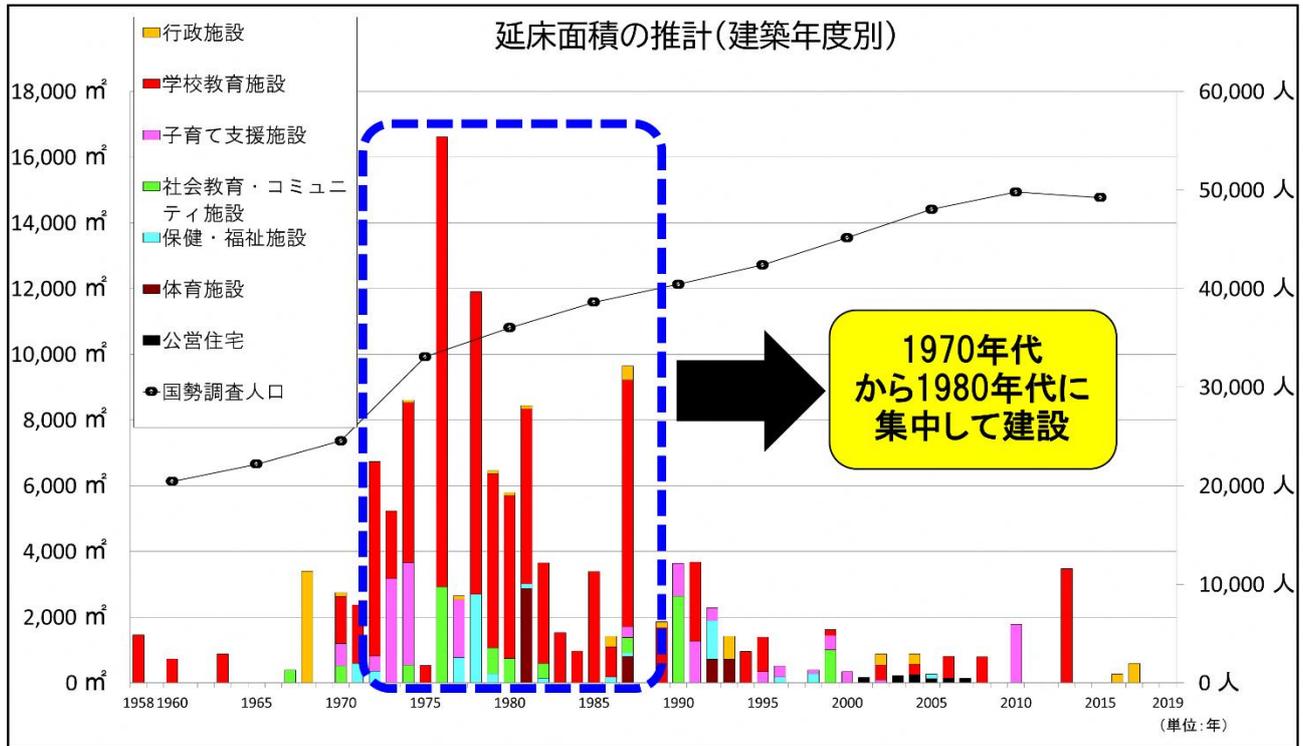


役場約 40 個分!

公共施設の老朽化状況について

本町の公共施設は、1970年代から1980年代にかけて集中的に建設されました。それらの施設は現在、建築後40年～50年程度が経過し、一層の老朽化が進んでおり、今後一斉に更新時期を迎えます。しかし、人口減少・少子高齢化、財政難等の中、公共施設等を全て建て替えていくことは困難です。

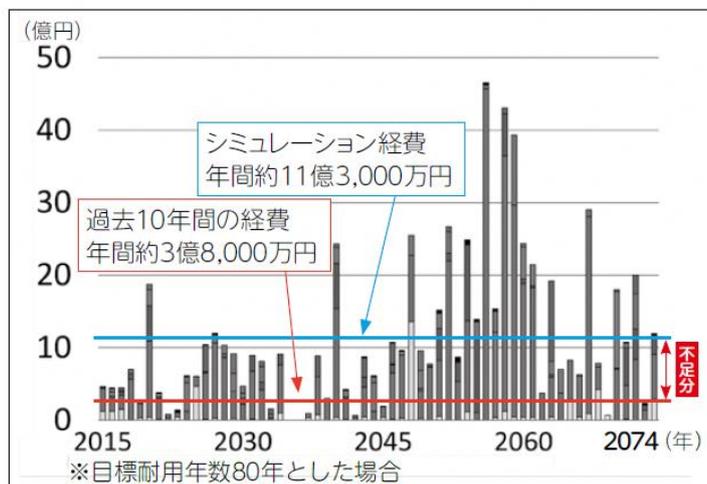
町の公共施設は老いています！



2 町が保有する公共施設を修繕・更新していくために必要なお金

本町が保有する公共施設を修繕・更新していくために、どのくらいのお金が必要になるのかを試算したものが以下のシミュレーション結果となります。今ある施設を修繕・更新していくためには今後も多額のお金が必要になります。また、この結果からも、今ある施設を今後、現在と同様に修繕・更新していくことは困難であることがわかります。

建物の更新・修繕費用シミュレーション



2015年度～2074年度の60年間で
約681億2,000万円が必要。

年間にすると約11億3,000万円が必要

町で公共施設(建物)の更新・修繕にかけた
経費(過去10年)の年平均は約3億8,000万円!

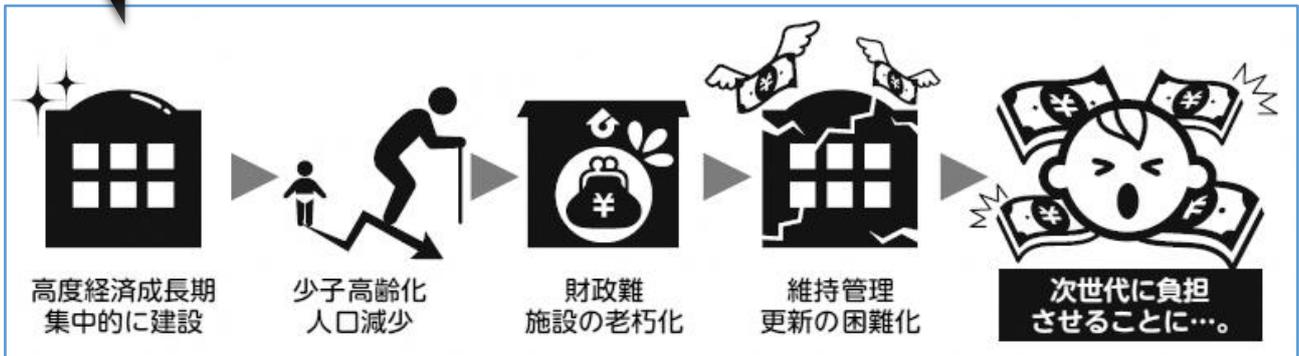
つまり、「今」ある施設を「同じ姿のまま」
更新・修繕しようとする…
毎年、約7億5,000万円が不足!



3 公共施設の抱える課題

本町の保有する公共施設の老朽化が進行する中、人口減少や少子高齢化の進行により、社会構造や住民からのニーズが変化しているとともに、厳しい財政状況が予測されており、今後、持続可能な公共施設を実現するためには公共施設等の維持管理、更新等について、抜本的な見直しが必要となっています。

公共施設をそのまま維持することは、とても困難なことです！

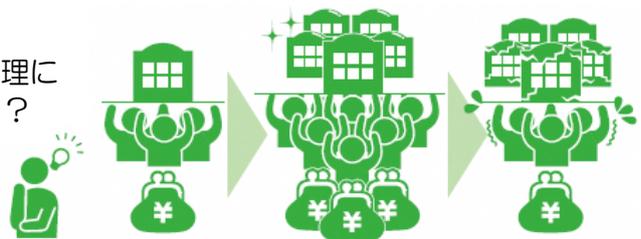


Question

施設の数はいままで、将来、維持管理にかかる費用が減るとどうなるでしょう？

Answer

十分な維持管理ができないことによる施設の閉鎖・解体です。



4 どんなことを考える必要がある？

公共施設の老朽化・更新問題は全国の自治体で発生しています。



他の自治体では、限られた財源で施設を持続させるために、どんな対策をしているのでしょうか。

施設の集約化や複合化

維持管理費を抑えるPPP

維持管理費を賄うために使用料を値上げする

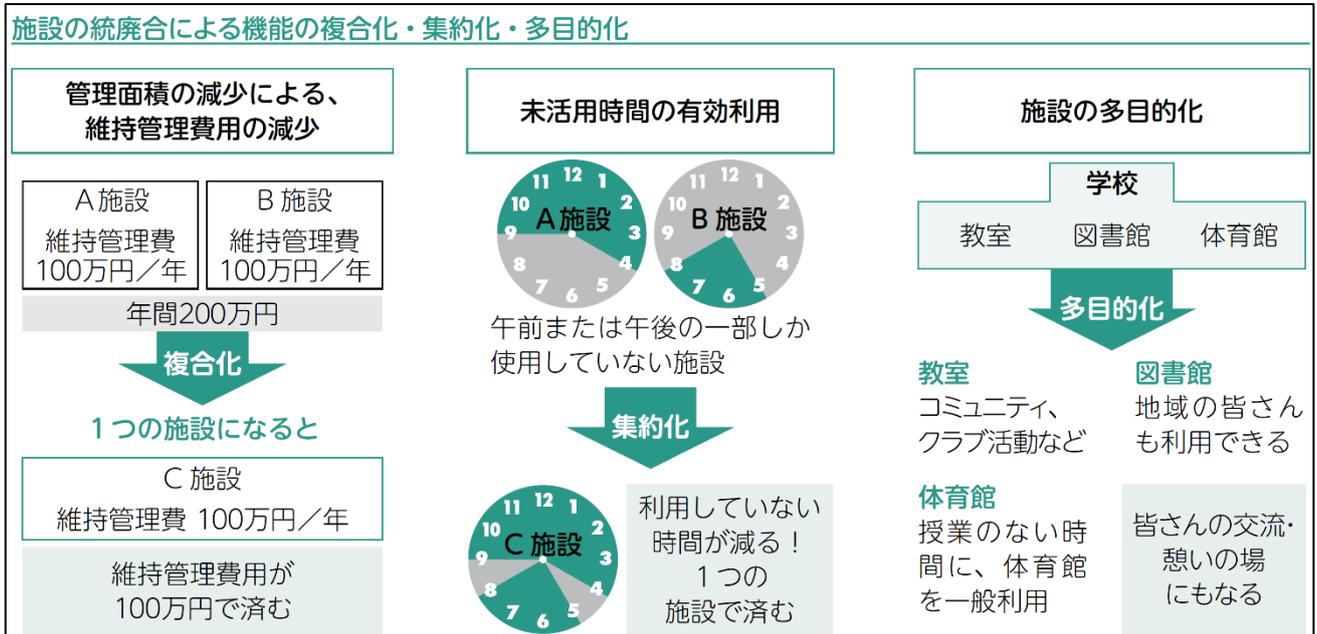
次世代の負担を減らすためには、ただ減らすのではなく、他の施設と複合化、施設の共同利用や多目的化をし、住民サービス水準を落とすことなく、施設の量と維持管理費を減らすことが有効です。

「今まで使用していた施設が無くなる」といった思い入れや、「今までより場所が遠くなる」といったデメリットもあるかもしれませんが、しかし、安心・安全に施設を使用するためには、適切な維持管理や更新が必要であると考えています。



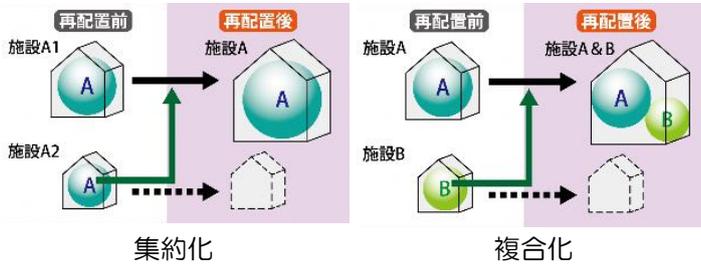
5 これから求められること

本町の保有する公共施設の老朽化が進行する中、人口減少や少子高齢化の進行等により、財源が不足しています。そのような中、今後も持続可能な公共施設を実現するために、複合化、集約化や多目的化などの方法で、計画的に公共施設をマネジメントしていく必要があります。



“再編”の色々な方法

集約化・複合化



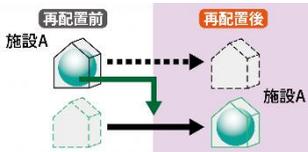
公共施設の状況にあわせて、色々な方法を検討していきます。

類似施設の機能や異なる施設の機能を集約化・複合化することで施設価値を高める

イメージ

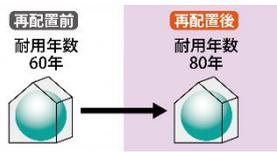


転用



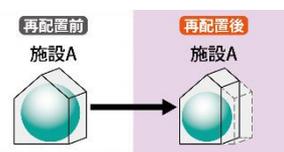
異なる用途で利用し、ニーズの変化に対応

長寿命化



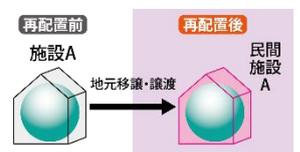
事後保全ではなく予防保全とし、維持修繕

減床更新（減築）



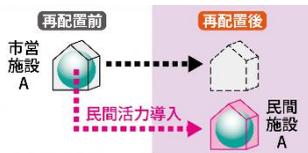
建て替えに合わせて、必要な機能のみを残し規模の適正化

地元移譲



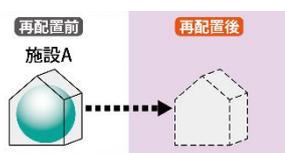
地元への譲渡（無償貸付）・移管

民間活力導入（PPP）



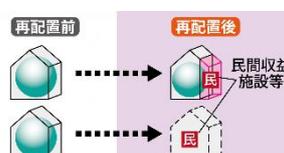
民間のノウハウを活用し、さらなるサービスの向上を図る

廃止



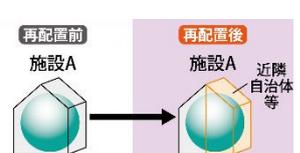
老朽化施設や必要性が低い施設は見直し

貸付・売却



見直した施設を最大限活用し、財源確保に取り組み

広域連携



近隣自治体と施設を相互利用

東浦町の公共施設マネジメント事例

本町における公共施設の多目的化や複合化などの事例をご紹介します。

●施設の多目的化

町内にある学校の体育館を夜間利用することが可能(事前の手続きが必要)で、バスケットボールやバレーボールなどのスポーツを楽しむことができます。



●機能の複合化

藤江コミュニティセンターは、証明書の発行や研修室などの利用ができるコミュニティセンターの機能と体育施設の機能を有する複合施設です。



●民間施設の活用

イオンモール東浦2階に行政サービスコーナーを設置しており、民間施設を利用した行政窓口となっています。土日、祝日でも証明書の発行や納税などができます。



他自治体の公共施設マネジメント事例

■複合化事例：岡崎市「額田センター」

整備前

施設名	延床面積
旧額田支所(未利用)	1,362.74㎡
額田支所	784.72㎡
額田図書館	562.35㎡
森の総合駅(案内所)	505.42㎡
ぬかた会館	718.16㎡
延床面積合計	3,933.39㎡

複合化

整備後(額田センター)

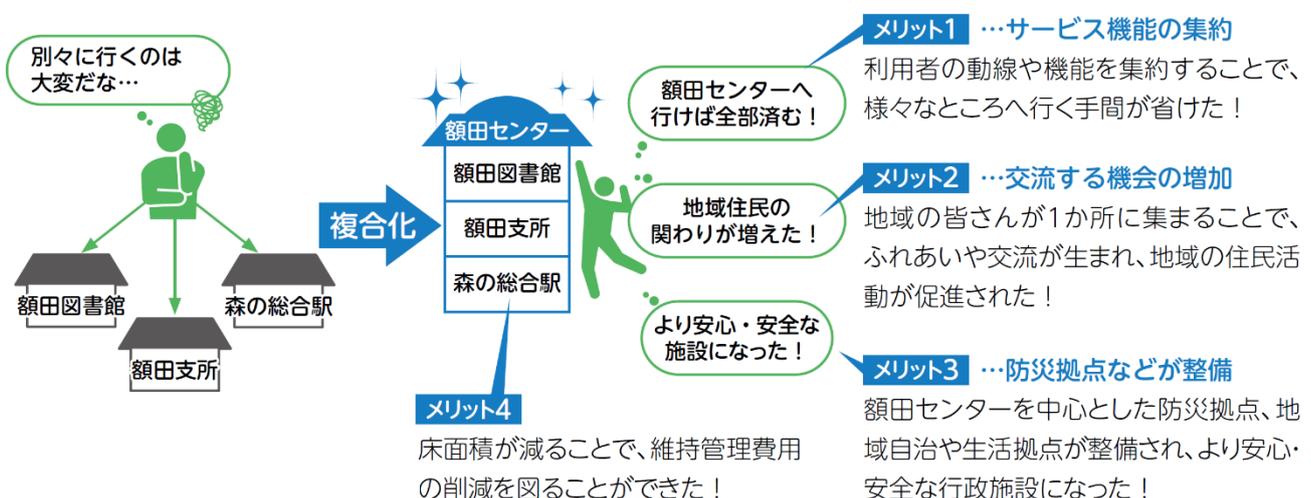
	施設名
解体	 額田センター
解体	
解体	
解体	
転用	
延床面積	1,975.77㎡

- ・行政関係(支所など)
 - ・市民交流(集会室など)
 - ・社会教育機能(図書館など)
 - ・地域防災拠点機能(防災倉庫など)
- これらの機能が集約されました！



なんと…約50%の延床面積を削減することに成功しています！

複合化は面積削減以外にも様々なメリットがあります



6 将来にわたり持続可能な公共施設のあり方を考える視点

公共施設の維持管理・更新には住民皆さんからの税金が充てられています。公共施設は老朽化しているため、何とかしなければならないことはわかっているけれども、現在ある施設が無くなるのは反対という意見もあります。認識しておかないといけないことは、『来年やる話』ということではなく、少なくとも10年程度をかけて、住民皆さんとの合意形成をする必要があります。

そして、人口減少や少子高齢化等、社会的な変化を踏まえて考え、将来のイメージをし、どのように使いたいかを考えることが大切です。

こんな考え方が大切です

マイナス×マイナス＝プラスの発想

行政任せではなく、
地域や住民任せでもなく、
みんなで一緒に取り組むことが大切です。

公共施設を「減らす」という考え方ではなく、例えば「学校を核に、他の公共施設を集約する」という「プラス」の発想も大切です。建物を集約化・複合化することをきっかけに、地域や世代を超えた関わりあいを深めることができるかもしれません。

7 協働

将来にわたり持続可能な公共施設の実現は、行政だけでなく、地域や住民皆さんと一緒に取り組むことが大切です。様々な参加の方法を介して、公共施設の再編を進めていきます。

住民皆さんと協力していきます！

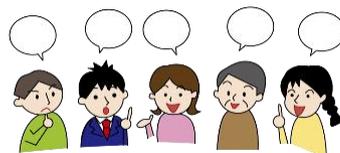
将来にわたり持続可能な公共施設の実現に向けて協力しながら進めていきます。

アンケート・ヒアリング



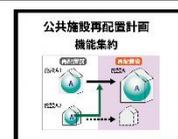
利用者や地域のニーズ等を把握

ワークショップ



どのように変えていきたいかななどを議論

講演会・説明会



講演会や説明会で情報を共有していきます。

8 東浦町の取組のご紹介

公共施設に関する計画等を策定しています。

(1) 東浦町公共施設等
総合管理計画



(2) 東浦町公共施設
個別施設計画



(3) 広報ひがしうら
連載記事



アンケート調査票

※ご回答いただく前に、1から6ページ目の
【東浦町の公共施設の現状】をご覧ください。

I 人口減少や少子高齢化の時代の進行を背景として、今後、公共施設をどのようにしたらよいか、町が取り組むべきことについてお尋ねします。

問1：近い将来、町が保有する多くの公共施設が建て替えの時期を迎えますが、財政状況は厳しく、全ての公共施設を建て替えることは困難です。あなたはこのことを知っていますか。

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 聞いたことはある 4. 知らない

問2：将来にわたって持続可能な施設にしていくために、『東浦町公共施設等総合管理計画』などによる町の取り組みがあることを知っていますか。

1. よく知っている 2. 少しは知っている 3. 聞いたことはある 4. 知らない

問3：町の公共施設の老朽化や財源の不足といった現状と課題について、あなたはどのくらい関心をお持ちですか。

1. 強い関心を持っている 2. 関心を持っている 3. どちらかと言えば関心はない 4. 関心はない

問4：少子化が進む中、将来の小中学校施設のあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか。
(2つまで選択可)

1. 施設を縮小する
2. 一部の学校を廃止し、集約化する
3. 小中一貫校を進める
4. 学校施設に他施設の機能やサービスを組み込み、地域住民でも利用できるようにする
5. 他の施策をやめてでも、学校にかかる費用を減らさず、維持するべきである
6. その他 (お考えをご記入ください)

問5：公共施設の再編等を検討する際に、どのような手法であれば住民の方々と情報を共有できると思いますか。(2つまで選択可)

1. 広報やホームページを活用
2. 住民アンケート
3. 住民説明会
4. ワークショップ
5. 講演会やシンポジウム
6. 大学教授など有識者の見解を公表
7. 何もする必要はない
8. その他 (お考えをご記入ください)

問6：情報を共有するために様々な手法を採った場合においても、公共施設の再編について全ての住民の方に満足していただけるとは限りません。仮に、大多数の住民の方が満足しても、一部満足していただけない住民の方がいる場合、公共施設の再編についてどのように行動すべきであると思いますか。

1. 一部の住民であっても、反対があるなら再編を進めないほうがよい。
2. 反対する住民の理解が得られるまで丁寧に説明を行った上で、再編を進めるべきである。
3. 公共性・必要性が高ければ、一部に反対があっても再編を進めるべきである。
4. その他 (お考えをご記入ください)

問7：あなたが生活する地域にある公共施設の量について、どのように感じていますか。

1. 過剰である 2. 適切である 3. 不足している 4. わからない

問8：公共施設の課題の解決に向け、様々な視点・取り組みを検討する必要があります。あなたは、これらの取り組みについてどう思いますか。

	積極的に実施すべき	どちらかと言えば実施すべき	どちらかと言えば実施すべきでない	実施すべきでない
(ア) 施設を集約化や複合化することなどにより、管理面積を減らし、税金の負担を減らしつつ、施設価値を高める。	1	2	3	4
(イ) 近隣の自治体と共同で施設を建設・運営する。	1	2	3	4
(ウ) 施設の建て替え・維持管理等に民間の資金やノウハウを活用する。	1	2	3	4
(エ) 施設利用者または地域の住民が施設の維持管理を行う。	1	2	3	4
(オ) 現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する。	1	2	3	4
(カ) 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る。	1	2	3	4
(キ) 使用料の値上げ、または、料金を徴収していない施設を有料化する。	1	2	3	4
(ク) 施設におけるサービスの水準を引き下げ、経費を抑える。	1	2	3	4
(ケ) 特別な税金の徴収等により、経費を住民全体で負担する。	1	2	3	4

問9：施設を集約化や複合化を行うとした場合、何が大切だと思えますか。(2つまで選択可)

1. 施設の数やスペースが減少しても、サービス水準を低下させないこと
2. 世代等に関わらず誰もが利用できること
3. 公共施設を利用する上で、地域間格差が発生しないようにすること
4. 子ども、高齢者、障がい者のほか、公共交通の便が悪い地域の利用者に配慮すること
5. 同じ世代、同じ趣味の人が集う施設であること
6. 利用団体同士で施設利用のルールを作り、利用することができること
7. 今後のまちづくりを担っていく、若い方の意見を尊重すること
8. その他 (お考えをご記入ください)

**問 10: 公共施設を減らさなければならないとしたら、どのような施設を対象にするべきだと思いますか。
(2つまで選択可)**

1. 利用者が少なく、利用率が低い施設
2. 施設の寿命が残りわずかな施設
3. 維持管理や建て替えに多額の費用がかかる施設
4. 役割や機能が似ていて、町内に何か所もある施設
5. 民間で同等のサービスや機能を提供できる施設
6. 特定の団体しか利用できない施設

問 11: 公共施設を利用する際の料金について、どれが最も適当だと考えますか。

1. 施設の維持管理に必要な費用（光熱水費、施設修繕費、人件費等）すべてを利用者が負担すべき
2. 施設を使用した際にかかった光熱水費（照明や空調等）分は、利用者が負担すべき
3. 民間の同種の施設と同等程度は利用者が負担すべき
4. 税金が上がるかもしれないが、利用者から使用料は徴収せず、すべての費用を税金で負担すべき

問 12: 限られた財源の中で、町が将来にわたり優先的に投資していくべきと考える施設はどのような施設と考えますか。(5つまで選択可)

1. 役場庁舎
2. 防災倉庫・消防団詰所
3. 総合ボランティアセンター
4. 小学校・中学校
5. 学校給食センター
6. 保育所・なかよし学園
7. 児童館・総合子育て支援センター
8. 文化センター
9. コミュニティセンター・藤江公民館
10. 中央図書館
11. 郷土資料館（うのはな館）
12. 福祉センター
13. 老人憩の家・東ヶ丘交流館
14. 保健センター
15. 勤労福祉会館
16. 体育館・はなのき会館
17. ふれあいセンター・藤江コミュニティセンター
18. 町営住宅（藤江住宅・半ノ木住宅）

問 13: 今後、集約化や複合化を行ってもよいと考える施設があれば、具体的な施設名とその理由を記入して下さい。

(例) 役場と文化センターと図書館

理由: 役場で手続きをしたついでに、図書館で読書できる。また、講座等で、必要な時に資料を図書館ですぐに調べることができる。

Ⅱ 本町の公共施設の現状や将来のあり方について、ご意見がございましたらご記入をお願いします。

Ⅲ 下記に記載しているそれぞれの公共施設の利用状況についてお尋ねします。

【対象公共施設一覧表】

1	役場庁舎	9	福祉センター
2	総合ボランティアセンター	10	老人憩の家・東ヶ丘交流館
3	児童館	11	保健センター
4	総合子育て支援センター	12	勤労福祉会館
5	文化センター	13	体育館・はなのき会館
6	コミュニティセンター・藤江公民館	14	ふれあいセンター
7	中央図書館	15	学校体育館開放（小学校・中学校）
8	郷土資料館（うのはな館）		

問 14-1：利用頻度を教えてください。

1. 定期的にご利用【問 14-2へ】
2. たまにご利用（2～3か月に1回程度）【問 14-2へ】
3. ほとんど利用していない（半年に1回程度）【問 14-2へ】
4. 過去1年以内には利用していない【問 14-2へ】
5. 今まで一度も利用したことがない【問 14-5へ】

問 14-2：あなたが上記の公共施設を利用した際の主な交通手段は次のうちどれですか。

1. 自動車
2. 徒歩
3. 自転車
4. 自動二輪車（3輪タイプを含む）
5. バス
6. 送迎車

問 14-3：実際に公共施設を利用してどのように感じましたか。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満【問 14-4へ】
4. 不満【問 14-4へ】

※問 14-3において【3. やや不満、4. 不満】を選択した方へ

問 14-4：最も当てはまる不満の理由を選んでください。

1. 自宅から遠い
2. 交通アクセスが悪い
3. 建物が古い
4. 設備が充実していない
5. 使用料金が低い
6. 希望時間帯に使えない
7. その他（理由をご記入ください）

※問 14-1において【5. 今まで一度も利用したことがない】を選択した方へ

問 14-5：当該施設を利用しなかった理由を選んでください。

1. 施設の存在やサービス内容を知らない
2. 利用する必要がない
3. 施設、サービスや使用料金などに不満がある
4. 他の市町村や県、国、民間施設を利用している
5. 住まいからの距離が遠い
6. その他（理由をご記入ください）

IV あなた自身についてお尋ねします。

問 15：あなたの年代は次のうちどれですか。

1. 10 歳代 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代
5. 50 歳代 6. 60 歳代 7. 70 歳代以上

問 16：あなたの世帯は次のうちのどれですか。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯（親と子）
4. 三世帯世帯（親と子と孫） 5. その他

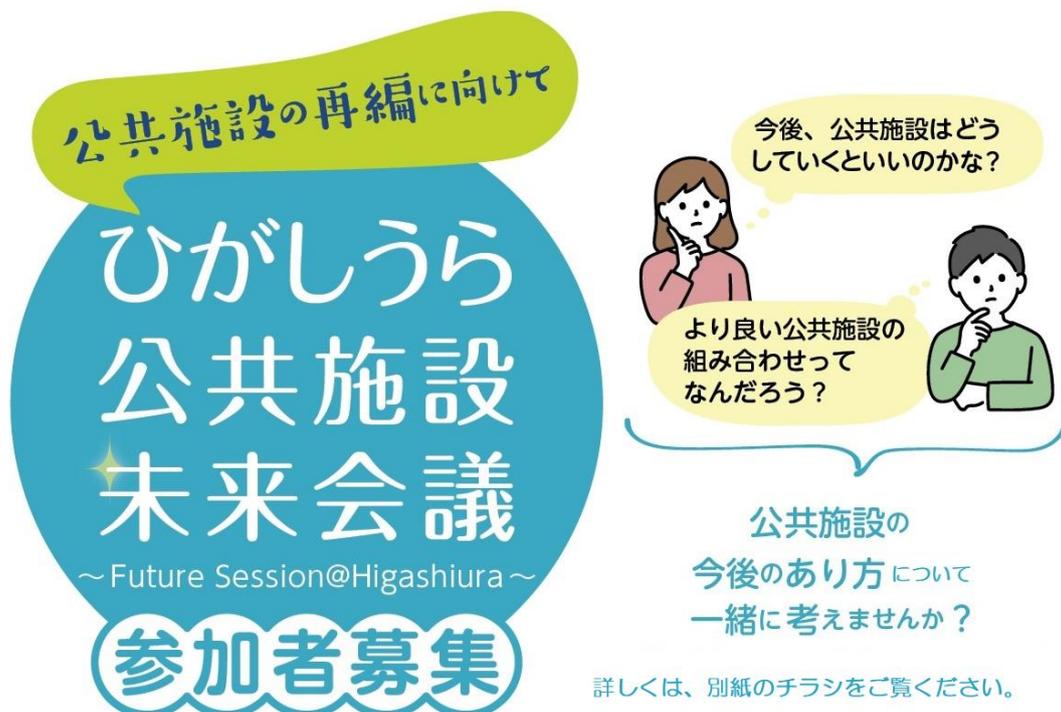
問 17：あなたの職業は次のうちどれですか。

1. 会社員 2. 公務員・団体職員 3. パートタイマー・アルバイト・内職
4. 家事専業 5. 学生 6. 自営業（家族従業の場合を含む）
7. 農業 8. 無職 9. その他（可能でしたらご記入ください）

問 18：あなたがお住まいの地域は次のうちどれですか。

1. 森岡地区
2. 緒川地区（緒川小学校通学区）
3. 石浜地区
4. 生路地区
5. 藤江地区
6. 緒川新田地区（卯ノ里小学校通学区）
7. 「2. 緒川地区」か「6. 緒川新田地区」かわからない場合は、小字名を記入してください。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



Public facilities reorganization for Higashiura
ひがしうら
公共施設
未来会議
～ Future Session@Higashiura～
参加者募集

今後、公共施設はどうしていくといいのかな？
より良い公共施設の組み合わせってなんだろう？

公共施設の
今後のあり方について
一緒に考えませんか？

詳しくは、別紙のチラシをご覧ください。

今後の公共施設やまちづくりに関心のある方はぜひ、お申し込みを！